



令和5年度

研修科授業計画 (シラバス)

東北歯科技工専門学校

東北歯科技工専門学校
組織図

(理事長)
渡邊 奈美

(校長)
渡邊 奈美

(副校長)
小松 勝

(事務部)
石橋 佳津子

(歯科技工研究部)
主任 渋谷 洋子
吉田 こずえ
岸 高保
石川 千夏

(教務部)
部長 八巻 賢一
主任 神永 聡
小松 勝
岸 高保
後藤 真宏
石川 千夏

(就職支援相談室)
八巻 賢一

(入試部)
部長 後藤 真宏

(広報事業部)
部長 八巻 賢一
主任 後藤 真宏

令和5年度 研修科教員名簿

【非常勤教員】

氏 名	担当教科	勤務先等	役 職
近 藤 太	有床義歯技工学(応用)	(株) 近藤義歯研究所	代表取締役
木 村 健 二	歯科技工実習	(有) 協和デンタルラボラトリー	代表取締役
中 澤 正 絵	歯科技工実習	富谷中央病院	歯科衛生士長
上 林 健	歯冠修復技工学(応用)	(有) ナチュラルセラミック	代表取締役
長久保 美 奈	歯科技工実習	(有) ミナ・コーポレーション	代表取締役
菅 原 克 彦	歯冠修復技工学(基礎・応用)	(有) ケイエスデンタル	代表取締役
大 野 健 夫	有床義歯技工学(応用)	白山デンタルラボラトリー	代表取締役

【常勤教員】

氏 名	担当教科	役 職
渡 邊 奈 美	歯科技工実習	理事長・校長
八 巻 賢 一	有床義歯技工学(基礎・応用)・歯科技工実習	教務部長
神 永 聡	歯冠修復技工学(基礎・応用)・歯科技工実習	教務主任

単位時間・年間予定表

<教科・単位時間一覧>

講義 30時間＝1単位

実習 45時間＝1単位

分野	教育内容	教科	内容	時間数	総時間	単位数	総単位	備考
専門分野	有床義歯技工学	有床義歯技工学(基礎)	実習	180	510	4.0	13.0	
			講義	90		3.0		
		有床義歯技工学(応用)	実習	180		4.0		
			講義	60		2.0		
	歯冠修復技工学	歯冠修復技工学	実習	180	480	4.0	12.0	
			講義	60		2.0		
		審美歯科技工学	実習	180		4.0		
			講義	60		2.0		
	歯科技工実習	歯科技工実習	実習	315	315.0	7.0	7.0	
	合計				1305	1305	32.0	32.0

<年間予定表>

section	BASIC section					ADVANCE section				備考
実習期間	4/17～9/19			8/7	9/20	9/27	12/8	12/25	1/8	
				8/27	9/26	12/7	12/22	1/7	2/22	
実習内容 時間数	歯冠修復 (基礎) 240時間	歯科技工 実習 166時間	有床義歯 (基礎) 270時間	夏期休校	有床義歯 試験	審美歯科 技工学 240時間	有床義歯 (応用) 56時間	冬期休校	有床義歯 (応用) 184時間	
						歯科技工 実習 142時間			歯科技工 実習 8時間	

令和五年度 研修科 教育課程(カリキュラム)

学 週 期 次	分 野	専門分野																				試 験 ・ 行 事 ・ そ の 他	1 週 間 の 時 間 数		
		有 床 基 礎 義 歯 技 工 学	有 床 応 義 歯 技 工 学				歯 冠 基 礎 修 復 技 工 学				歯 冠 応 義 歯 修 復 技 工 学				臨 床 実 習										
			講 義	実 習	講 義	講 義	講 義	実 習	実 習	講 義	講 義	実 習	実 習	講 義	講 義	講 義	実 習	実 習	実 習	実 習	演 習			演 習	演 習
授業形態	講 義	実 習	講 義	講 義	講 義	実 習	実 習	講 義	講 義	実 習	実 習	講 義	講 義	講 義	実 習	実 習	実 習	実 習	演 習	演 習	演 習				
担当 月日	八 巻	八 巻	八 巻	大 野	近 藤	八 巻	大 野	神 永	菅 原	神 永	菅 原	神 永	上 林	菅 原	神 永	菅 原	八 巻	神 永	木 村	中 澤	長 久 保				
1	4/10~4/15									12		28											4	4	
2	4/17~4/21									4		20												40	
3	4/24~4/28	4	8							4		20												40	
4	5/1~5/5																							0	
5	5/8~5/12	4	12							4		20												40	
6	5/15~5/21	8	16								4	10	4											46	
7	5/22~5/26	4	12							4		4												32	
8	5/29~6/2	4	16							4		12								4				40	
9	6/5~6/9	8	16							4		12												40	
10	6/12~6/16	8	16							4		12												40	
11	6/19~6/25	4	12							4		14											12	46	
12	6/26~6/30	4	12							4		12												32	
13	7/3~7/7		8							4		8							20					40	
14	7/10~7/14	4	4							4		8							20					40	
15	7/17~7/23	4	4									8							18				4	38	
16	7/24~7/28		8							4		4							16				4	36	
17	7/31~8/4	4	4									4							20					32	
18	8/7~8/25	夏 期 休 校																							
18	8/28~9/1	4	8																20					32	
19	9/4~9/10	12	12																20					44	
20	9/11~9/15	12	8																20					40	
21	9/18~9/22	2	4																8				26	40	
22	9/25~9/29													4			4						16	24	
後 期	1	10/2~10/6												4			20		16					40	
	2	10/9~10/13												4			16		12					32	
	3	10/16~10/20												4			20		16					40	
	4	10/23~10/27												4		4	16	4	12					40	
	5	10/30~11/3												4			16		12					32	
	6	11/6~11/10												8			20		12					40	
	7	11/13~11/17												4			20		12					36	
	8	11/20~11/24												4			16		12					32	
	9	11/27~12/1													8		20		12					40	
	10	12/4~12/8			4			4						8			8		16					40	
	11	12/11~12/15			4			20											10					34	
	12	12/18~12/22			4			20																24	
期	13	12/25~1/8	冬 期 休 校																						
	14	1/8~1/12			4			16																20	
	15	1/15~1/19			8			20													4			32	
	16	1/22~1/26			4			20														4		28	
	17	1/29~2/2				8			20															28	
	18	2/5~2/9			4			20																28	
	19	2/12~2/16			8			20																28	
	20	2/19~2/23			8			20																28	
	21	2/26~3/2																						0	
	22	3/4~3/8																						0	
	23	3/11~3/15																						0	
	各科目総時間数小計		90	180		60			180		60		180		60			180		316				82	1306
各科目総時間数合計		90	180		60			180		60		180		60			180		316						
取得単位数		3	4		2			4		2		4		2			4		7					32	

授業の概要

有床義歯技工学基礎では全部床義歯の咬合による排列の違いや部分床義歯における維持装置の力学的・構造的要件を考慮した義歯の設計や床用レジンの違いによる埋没・填入方法の違いや機械的性質の違いを学習する。

有床義歯技工学応用では臨床技工に則した個人トレー・咬合床製作や金属床義歯の特徴や力学的・構造要件を考慮した設計や特徴、使用する機材の操作方法を学習する。

有床義歯技工学では、多岐にわたる臨床理論の基礎となる考え方や製作方法を学ぶ。

ホテツセンターラボラトリーに2年間、歯科技工士として勤務し義歯製作に従事してきた教員(八巻)が有床義歯技工学における基礎的な知識・技術・態度を学ぶ実習を行う。

学習目標(GIO)

全部床義歯や部分床義歯の製作を通し、製作に関わる知識・技能・態度を習得する。

授業科目の区分	専門分野			単位数	4
授業科目	有床義歯技工学（基礎）実習			授業	月～金
講義室名	研修科実習室	対象学年		研修科	
科目担当責任者	八巻 賢一	所属	東北歯科技工専門学校 教務部長		
授業担当責任者	八巻 賢一		東北歯科技工専門学校 教務部長		
オフィスアワー	1 階職員室			授業方法	実習

セクション	担当者	内容/学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	時間数
1	八巻 賢一	ガイダンス	・全部床義歯製作における技工作業の過程を説明できる。 ・物理的・解剖学的維持を説明できる。	8
		全部床義歯の製作過程を理解する。		
2	八巻 賢一	個人トレーの製作	・模型上の解剖学的ランドマークを列挙できる。 ・リリーフの目的を説明できる。 ・スパーサーの目的を説明できる。 ・トレー用常温重合レジン进行操作できる。	16
		個人トレーの製作を理解する。		
3	八巻 賢一	咬合床の製作	・基準線の目的を説明できる。 ・ポストダムの目的を説明できる。 ・咬合堤の標準的な幅・高さの説明ができる ・各基準線の意味を説明できる。 ・咬合堤を製作できる。	16
		咬合床の製作を理解する。		
4	八巻 賢一	作業用模型の咬合器装着	・平均値咬合器の特性を説明できる。 ・咬合平面板を使用できる。 ・作業用模型を咬合器に装着できる。	8
		咬合器装着を理解する。		
5	八巻 賢一	人工歯排列	・人工歯の選択方法を説明できる。 ・リングライズドオクルージョンについて説明ができる。 ・人工歯排列ができる。	16
		人工歯排列を理解する。		
6	八巻 賢一	歯肉形成	・歯肉形成の目的を説明できる。 ・各部位の形成の目的・形状を説明できる。 ・歯肉形成ができる。 ・口蓋ヒダを形成できる。	8
		歯肉形成について理解する。		
7	八巻 賢一	埋没と重合	・テンチの歯型を製作できる。 ・アメリカ式埋没法での埋没作業ができる。 ・流蠟の手順を列挙できる。 ・湿式重合法の加熱スケジュールを説明できる。 ・加熱重合レジンの操作ができる。	16
		全部床義歯の埋没、流蠟および重合を理解する。		
8	八巻 賢一	咬合器再装着・削合	・咬合器に模型を再装着できる（テンチのコア法）。 ・選択削合、自動削合および人工歯咬合形態修正ができる。 ・スピルウェイ（通路）の目的を説明できる。	16
		・咬合器への再装着を理解する。 ・全部床義歯の削合を理解する。		
9	八巻 賢一	研磨	・研磨の目的を説明できる。 ・研磨の要点・手順を説明できる。 ・研磨に使用する器材・材料を的確に操作できる。 ・完成後の保管について理解できる。	16
		研磨について理解する。		
10	八巻 賢一	ガイダンス	・製作手順を説明できる。 ・使用する器材を列挙できる。	16
		部分床義歯における技工操作の手順を理解する。		

11	八巻 賢一	部分床義歯の印象採得に伴う操作	・研究用模型を製作できる。 ・個人トレーを製作できる。 ・作業用模型を製作できる。 ・解剖学的ランドマークを認識できる。	16
		部分床義歯の印象採得に伴う技工操作を理解する。		
12	八巻 賢一	部分床義歯の咬合採得に伴う技工操作	・ブロックアウトの目的を説明できる。 ・咬合床を製作できる。 ・作業用模型を咬合器に装着できる。	16
		部分床義歯の咬合採得に伴う技工操作を理解する。		
13	八巻 賢一	部分床義歯の咬合調整と研磨	・部分床義歯を研磨の手順を説明できる。 ・研磨に使用する器材の特性を説明できる。	12
		部分床義歯の咬合調整と研磨ができる		

教科書・参考書		
著書・编者	書名	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	医歯薬出版

評価方法
製作物による評価

授業の概要
有床義歯技工学基礎では全部床義歯の咬合による排列の違いや部分床義歯における維持装置の力学的・構造学的要件を考慮した義歯の設計や床用レジンの違いによる埋没・填入方法の違いや機械的性質の違いを学習する。 有床義歯技工学応用では臨床技工に則した個人トレー・咬合床製作や金属床義歯の特徴や力学的・構造要件を考慮した設計や特徴、使用する機材の操作方法を学習する。 有床義歯技工学では、多岐にわたる臨床理論の基礎となる考え方や製作方法を学ぶ。 ホテルセンターラボラトリーに2年間、歯科技工士として勤務し義歯製作に従事してきた教員(八巻)が有床義歯技工学における基礎的な知識・技術・態度を学ぶ講義を行う。
学習目標(GI0)
有床義歯技工学の分類や適応症例などを学習し、製作に必要な手順・知識・技術を学ぶ。

授業科目の区分	専門分野			単位数	3
授業科目	有床義歯技工学(基礎)講義			授業	月～金
講義室名	研修科実習室	対象学年		研修科	
科目担当責任者	八巻 賢一	所属	東北歯科技工専門学校 教務部長		
授業担当責任者	八巻 賢一		東北歯科技工専門学校 教務部長		
オフィスアワー	職員室			授業方法	講義

セクション	担当者	内容/学習目標(GI0)	行動目標(SBOs)	時間数
1	八巻 賢一	ガイダンス	・有床義歯の種類を列举できる。 ・有床義歯の特徴と適応症を列举できる。 ・関連のある生体について説明できる。	12
		有床義歯技工学の意義と目的を理解する。		
2	八巻 賢一	印象採得・咬合採得に伴う技工作業	・作業用模型の咬合器への装着方法を列举できる。 ・ゴシックアーチ描記法の目的を述べる。 ・ゴシックアーチ描記装置の記録床への取り付け方法を説明できる。	12
		全部床義歯の印象採得に伴う技工作業を理解する。		
3	八巻 賢一	全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成	・人工歯排列に関わる機能的・審美的な基礎知識を説明できる。 ・人工歯の種類と特徴を説明できる。 ・人工歯の選択方法を説明できる。 ・有床義歯に付与する咬合様式を説明できる。	12
		全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成を理解する。		
4	八巻 賢一	全部床義歯の埋没と重合	・埋没の種類と方法を説明できる。 ・義歯床用レジンの中合法の種類と特徴を説明できる。	12
		全部床義歯の埋没と重合を理解する。		
5	八巻 賢一	部分床義歯の特性	・部分床義歯の構成要素を列举できる ・部分床義歯における維持、支持および把持を概説できる。 ・部分床義歯を咬合様式で分類できる。 ・部分床義歯を使用目的で分類できる。	12
		部分床義歯の構造と特性を理解する。		
6	八巻 賢一	クラスプの製作	・サバイヤーの使用目的と構造を説明できる ・間接法の説明ができる。 ・クラスプの製作方法を説明できる。 ・鋳造鉤と線鉤の製作方法の違いを説明できる。	12
		クラスプの製作方法を理解する。		
7	八巻 賢一	部分床義歯の埋没と重合	・埋没の種類と方法を列举できる。 ・部分床義歯の埋没、流鏝および重合方法の違いを説明できる。	12
		部分床義歯の埋没と重合を理解する。		
8	八巻 賢一	部分床義歯の咬合調整と研磨	・咬合器への再装着の方法を説明できる。 ・咬合調整の手順を列举できる。 ・研磨の手順を列举できる	6
		部分床義歯の咬合調整と研磨を理解する。		

教科書・参考書		
著書・编者	書名	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	医歯薬出版

評価方法
レポートによる評価

授業の概要
有床義歯技工学基礎では全部床義歯の咬合による排列の違いや部分床義歯における維持装置の力学的・構造学的要件を考慮した義歯の設計や床用レジンの違いによる埋没・填入方法の違いや機械的性質の違いを学習する。 有床義歯技工学応用では臨床技工に則した個人トレー・咬合床製作や金属床義歯の特徴や力学的・構造要件を考慮した設計や特徴、使用する機材の操作方法を学習する。 有床義歯技工学では、多岐にわたる臨床理論の基礎となる考え方や製作方法を学ぶ。 ホテツセンターラボラトリーに2年間、歯科技工士として勤務し義歯製作に従事してきた教員(八巻)と白山デンタルラボラトリーを経営する大野が有床義歯技工学における基礎を応用した知識・技術・態度を学ぶ実習を行う。
学習目標 (GI0)
金属床義歯や大野台形法の特徴を理解し、製作の工程や製作方法を学ぶ。

授業科目の区分	専門分野			単位数	4
授業科目	有床義歯技工学（応用）実習			授業	月～金
講義室名	研修科実習室	対象学年		研修科	
科目担当責任者	八巻 賢一	所属	東北歯科技工専門学校 教務部長		
授業担当責任者	八巻 賢一		東北歯科技工専門学校 教務部長		
オフィスアワー	職員室			授業方法	実習

セクション	担当者	内容/学習目標 (GI0)	行動目標 (SB0s)	時間数
1	八巻 賢一	ガイダンス・模型製作	・作業用模型を製作できる。 ・解剖学的ランドマークを説明できる。 ・金属床製作の手順を説明できる。 ・金属床の構成要素を説明できる。	16
		・金属床製作における手順・構成を理解する。		
2	八巻 賢一	基本設計	・基本設計をステップごとに描記できる。 ・サバイヤーを適切に操作できる。	16
		・基本設計の手順を理解する。		
3	八巻 賢一	複模型製作	・リリーフが適切にできる。 ・ブロックアウトが適切にできる。 ・印象材の操作ができる。 ・耐火模型材を適切に練和し、注入ができる。	16
		・複模型製作の手順を理解する。		
4	八巻 賢一	ワックスアップ	・ワックスアップに使用する各ワックスの特性を説明できる。 ・ワックスを適切に操作できる。 ・適切なフィニッシングラインの設定ができる。	22
		・金属床のワックスアップの手順を理解する。		
5	八巻 賢一	埋没	・鋳造時の湯流れを考慮したスプルーイングができる。 ・鋳造時の湯流れを説明できる。 ・埋没材を適切に操作できる。	16
		・埋没操作の手順を理解する。		
6	八巻 賢一	鋳造・割出し	・鋳型の加熱スケジュールを説明できる。 ・鋳造機を適切に操作できる。 ・サンドブラスターの操作ができる。 ・エアカッターの操作ができる。	16
		・金属床の鋳造方法について理解する。		
7	八巻 賢一	研磨	・高速レーズを操作できる。 ・研磨に使用する器材の特性を説明できる。 ・維持装置を支台歯に適合させることができる。 ・研磨に使用する器材を適切に選択できる。	16
		・金属床の研磨手順を理解する。		
8	大野 健夫	咬合床製作	・台形法の理論に基づいた咬合床製作ができる。 ・咬合床の設計ができる。	14
		・大野の台形法を理解する。		
9	大野 健夫	人工歯排列	・適切な咬合を付与した人工歯排列ができる。 ・人工歯の適切な選択ができる。	16
		・台形法で製作した咬合床に基づいた人工歯排列を理解する。		
10	大野 健夫	埋没・填入	・流し込みレジンの埋没ができる。 ・流し込みレジンの特性を説明できる。 ・填入操作が適切にできる。 ・使用機械を操作できる。	16
		・流し込みレジンによる埋没・填入操作を理解する。		

11	大野 健夫	研磨	・研磨に使用する器材の特性を説明できる。 ・研磨に使用する器材の適切な選択ができる	16
		・レジン床義歯の研磨を理解する。		

教科書・参考書		
著書・編者	書名	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	医歯薬出版

評価方法
製作物による評価

授業の概要
有床義歯技工学基礎では全部床義歯の咬合による排列の違いや部分床義歯における維持装置の力学的・構造的要件を考慮した義歯の設計や床用レジンの違いによる埋没・填入方法の違いや機械的性質の違いを学習する。 有床義歯技工学応用では臨床技工に則した個人トレー・咬合床製作や金属床義歯の特徴や力学的・構造要件を考慮した設計や特徴、使用する機材の操作方法を学習する。 有床義歯技工学では、多岐にわたる臨床理論の基礎となる考え方や製作方法を学ぶ。 ホテツセンターラボラトリーに2年間、歯科技工士として勤務し義歯製作に従事してきた教員(八巻)と白山デンタルラボラトリーを経営する大野と近藤義歯研究所を経営する近藤が有床義歯技工学における高度な知識・技術・態度を学ぶ講義を行う。
学習目標 (G10)
金属床義歯や大野台形法の特徴を理解し、製作の工程や製作方法を学ぶ。

授業科目の区分	専門分野			単位数	2
授業科目	有床義歯技工学(応用)講義			授業	月～金
講義室名	研修科実習室	対象学年		研修科	
科目担当責任者	八巻 賢一	所属	東北歯科技工専門学校 教務部長		
授業担当責任者	八巻 賢一		東北歯科技工専門学校 教務部長		
オフィスアワー	職員室			授業方法	講義

回数	担当者	内容/学習目標 (G10)	行動目標 (SB0s)	時間数
1	八巻 賢一	有床義歯技工に関連ある生体の基礎知識	・抜歯創の治癒経過を説明できる。 ・歯列弓と顎堤弓の説明ができる。 ・咀嚼能率について説明できる。 ・発音について説明できる。 ・残存歯肉の変化について説明できる。	12
		生体の基礎知識を理解する。		
2	八巻 賢一	金属床義歯	・粘膜面の印象について説明できる。 ・印象材の違いによる模型面の違いについて説明できる。 ・義歯を用いた印象採得について説明できる。	12
		義歯製作の印象について理解する。		
3	八巻 賢一	金属床義歯	・維持装置の設計における力学的要件について説明できる。 ・維持装置の違いによる維持力の違いを説明できる。 ・金属床の吸着について説明できる。	12
		金属床の構造的・力学的要件について理解する。		
4	八巻 賢一	金属床義歯	・コバルトクロム合金について説明できる。 ・铸造方法の違いによるスプルー操作の違いを説明できる。 ・遠心铸造法について説明できる。 ・加圧铸造法について説明できる。	10
		铸造法と铸造について理解する。		
5	大野 健夫	大野の台形法	・等脚台形法の意義と列举できる。 ・等脚台形法の特徴を説明できる。 ・等脚台形法を用いた人工歯排列について説明できる。	8
		大野の台形法について理解する。		
6	近藤 太	BPSデンチャー	・BPS総義歯システムの特徴を列举できる。 ・BPS総義歯システムの治療手順を説明できる	6
		BPS総義歯システムについて理解する。		

教科書・参考書		
著書・编者	書名	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	医歯薬出版

評価方法
レポートによる評価

授業の概要

歯冠修復技工学(基礎)においては、各歯冠修復物を解剖学的な基本形態に沿って製作するだけでなく、歯周組織との関係、咬合、審美性、全身状態などを把握し機能的な歯冠修復物を製作できる手順や材料選択、知識を学ぶ。
歯冠修復技工学(応用)においては、保険診療と自費診療で扱う材料の違いを学び、その材料やCAD/CAMを含めた機材の選択の仕方、取り扱い方の知識や技術を学ぶ。
株式会社Native Design等で5年間、歯科技工士として勤務し各種補綴装置の製作に従事してきた教員(神永)が歯冠修復技工学における基礎的な知識・技術・態度を学ぶ実習を行う。

学習目標 (GIO)

歯冠修復技工操作の各種手技や各種材料の使用方法を基礎的事項と臨床的事項の観点から総合的に学習し、知識および技術を習得する。

授業科目の区分	専門分野			単位数	4
授業科目	歯冠修復技工学実習			授業	月～金
実習室名	研修科実習室	対象学年		研修科	
科目担当責任者	神永 聡	所属	東北歯科技工専門学校 教務主任		
授業担当責任者	神永 聡		東北歯科技工専門学校 教務主任		
オフィスアワー	職員室			授業方法	実習

セクション	担当者	内容/学習目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	時間数
1	神永 聡	クラウン・クラウンブリッジの製作 (作業用模型製作・歯列部分の製作)	・陰型に石膏を注入することができる。 ・作業用模型製作に必要な器材を準備できる。 ・作業用模型製作過程を列記する。 ・模型のトリミングができる。	6
		・作業用模型の種類を理解し製作できる。		
2	神永 聡	クラウン・クラウンブリッジの製作 (ダウエルビンの植立・2次石膏・3次石膏)	・作業用模型製作に必要な器材を準備できる。 ・ダウエルビン植立ができる。 ・モデルホーマーを用いた模型製作ができる。 ・模型の修正ができる。 ・回転防止溝を形成することができる。	6
		・ダウエルビン植立の目的と手法を知る。モデルホーマーを用いた模型製作法を身につける。模型の修正について理解する。		
3	神永 聡	クラウン・クラウンブリッジの製作 (模型の分割・支台歯のトリミング)	・分割副位式模型の製作ができる。 ・トリミングの目的を説明できる。 ・歯型のトリミングができる。	6
		・模型の分割方法を理解し分割を行う。 ・トリミングの目的を理解し、トリミングを行う。		
4	神永 聡	クラウン・クラウンブリッジの製作 (咬合器装着)	・咬合器装着に必要な器材の準備ができる。 ・咬合器装着後の調整ができる。 ・咬合平板を使用することができる。	6
		・咬合器の重要性を認識して上顎模型装着の術式を身につける。 ・平均値咬合器の各部の名称、使用方法を理解する。		
5	神永 聡	クラウン・クラウンブリッジの製作 (ワックスアップ①、②)	・ワックスアップに必要な器材の準備ができる。 ・盛り上げ法によるワックスアップができる。 ・反対側同名歯の形態を観察することができる。 ・解剖学的な形態を再現できる。	6
		・全部金属冠の製作法を理解し、大臼歯のワックスアップを行う。		
6	神永 聡	クラウン・クラウンブリッジの製作 (ワックスアップ③、④)	・反対側同名歯と嚙型の形態を比較する。 ・隣在歯列との調和を考慮することができる。	6
		・全部金属冠の製作法を理解し、大臼歯のワックスアップを行う。		
7	神永 聡	クラウン・クラウンブリッジの製作 (ワックスアップ⑤、⑥)	・ワックスアップに必要な器材の準備ができる。 ・対合歯との関係性を考慮できる。 ・食物の流れやを考慮し製溝や小窩の形態を考慮できる ・嚙型の表面を整えることができる。	6
		・大臼歯における外形と咬合面部のワックスアップを行う。		
8	神永 聡	クラウン・クラウンブリッジの製作 (埋没準備・埋没)	・嚙型辺縁部の仕上げができる。 ・嚙型に必要な接点の状態を回復できる。 ・スプルーイングの要件を説明できる。 ・埋没に必要な器材の準備ができる。 ・埋没作業ができる。	6
		・埋没するための準備を習得する。ワックスパターンの埋没手順を理解し、埋没する。		
9	神永 聡	クラウン・クラウンブリッジの製作 (鋳造、適合)	・鋳造に必要な器材の準備ができる。 ・ブローパイプを用いた鋳造ができる。 ・鋳造後処理について述べるができる。 ・鋳造後処理について述べるができる。 ・歯型への適合調整を行うことができる。	6
		・鋳造法を理解し、金属の鋳造を行う。		
10	神永 聡	クラウン・クラウンブリッジの製作 (調整、粗研磨)	・鋳造体の調整に使用する器材の準備ができる。 ・調整操作の要件を述べることができる。 ・接点の調整を行うことができる。 ・研磨に必要な器材の準備ができる。 ・鋳造体の粗研磨を行うことができる。	4
		・隣接面の接点形態を認識し、鋳造体の調整法を理解する。研磨の手法を理解し、鋳造体の形態修整と粗研磨を行う。		
11	神永 聡	クラウン・クラウンブリッジの製作 (中研磨)	・研磨に必要な器材の準備ができる。 ・中研磨の説明ができる。 ・鋳造体の中研磨を行うことができる。	4
		・研磨の手法を理解し、鋳造体の中研磨を行う。		
12	神永 聡	クラウン・クラウンブリッジの製作 (中研磨、仕上げ研磨)	・研磨に必要な器材の準備ができる。 ・仕上げ研磨の方法を説明できる。 ・鋳造体の仕上げ研磨を行うことができる。	4
		・鋳造体の仕上げ研磨を行う。全部金属冠を完成させる過程を身につける。		
13	神永 聡	クラウン・クラウンブリッジの製作 (仕上げ研磨、完成、提出)	・研磨に必要な器材の準備ができる。 ・鋳造体の洗浄を行うことができる。 ・全部金属冠製作の工程を述べるができる。	4
		・鋳造体の仕上げ研磨を行う。全部金属冠を完成させる過程を身につける。		

14	神永 聡	インレー・アンレーの製作 (作業用模型、歯列部分の製作)	・石膏の操作ができる。 ・作業用模型製作に必要な器材の準備ができる。 ・作業用模型製作工程を説明できる。 ・模型のトリミングを行うことができる。	6
		・作業用模型の種類を理解し製作できる。		
15	神永 聡	インレー・アンレーの製作 (ダウエルピンの植立・2次石膏・3次石膏)	・作業用模型製作に必要な器材の準備ができる。 ・ダウエルピン植立を行うことができる。 ・模型の修正を行うことができる。 ・回転防止溝を形成できる。	6
		・ダウエルピン植立の目的と手法を知る。モデルホルマーを用いた模型製作法を身につける。模型の修正について理解する。		
16	神永 聡	インレー・アンレーの製作 (模型の分割・支台歯のトリミング)	・模型の分割を行うことができる。 ・トリミングの目的を述べるができる。 ・歯型のトリミングを行うことができる。	6
		・模型の分割方法を理解し分割を行う。 ・トリミングの目的を理解し、トリミングを行う。		
17	神永 聡	インレー・アンレーの製作 (咬合器装着)	・咬合器装着に必要な器材の準備ができる。 ・咬合器装着後の調整を行うことができる。 ・咬合平面板を使用することができる。	6
		・咬合器の重要性を認識して上顎模型装着の術式を身につける。 ・平均値咬合器の各部の名称、使用方法を理解する。		
18	神永 聡	インレー・アンレーの製作 (ワックスアップ①、②)	・ワックスアップに必要な器材の準備ができる。 ・盛り上げ法によるワックスアップを行うことができる。 ・反対側同名歯の形態を観察することができる。 ・各咬頭の高さを比較することができる。	6
		・インレー・アンレーの製作法を理解し、小臼歯、大臼歯のワックスアップを行う。		
19	神永 聡	インレー・アンレーの製作 (ワックスアップ③、④)	・盛り上げ法によるワックスアップを行うことができる。 ・最大豊隆部を比較することができる。 ・接点の位置を観察することができる。 ・軟化圧接法でワックスアップを行うことができる。	6
		・インレー・アンレーの製作法を理解し、小臼歯、大臼歯のワックスアップを行う。		
20	神永 聡	インレー・アンレーの製作 (ワックスアップ⑤、⑥)	・辺縁隆線の高さを比較することができる。 ・裂溝や小窩の形態の整理を行うことができる。 ・蠟型の表面を整えることができる。	6
		・小臼歯、大臼歯における外形と咬合面部のワックスアップを行う。		
21	神永 聡	インレー・アンレーの製作 (埋没準備・埋没)	・蠟型辺縁部の仕上げを行うことができる。 ・蠟型に必要な接点の状態を模倣ができる。 ・スブルーイングの要件を説明できる。 ・埋没作業に必要な器材の準備ができる。 ・埋没作業ができる。	6
		・埋没するための準備を習得する。ワックスパターンの埋没手順を理解し、埋没する。		
22	神永 聡	インレー・アンレーの製作 (鑄造、適合)	・鑄造に必要な器材の準備ができる。 ・ブローパイプを用いた鑄造を行うことができる。 ・鑄造後の処理について述べることができる。 ・歯型への適合調整を行うことができる。	6
		・鑄造法を理解し、金属の鑄造を行う。		
23	神永 聡	インレー・アンレーの製作 (調整、粗研磨)	・鑄造体の調整に使用する器材の準備ができる。 ・調整操作の詳細を具体的に述べることができる。 ・接点の調整を行うことができる。 ・研磨に必要な器材の準備ができる。 ・研磨方法の工程を説明することができる。 ・鑄造体の粗研磨ができる。	6
		・隣接面の接点形態を認識し、鑄造体の調整法を理解する。研磨の手法を理解し、鑄造体の形態修整と粗研磨を行う。		
24	神永 聡	インレー・アンレーの製作 (中研磨)	・研磨に必要な器材の準備ができる。 ・研磨方法の工程を説明できる。 ・鑄造体の中研磨ができる。	6
		・研磨の手法を理解し、鑄造体の中研磨を行う。		
25	神永 聡	インレー・アンレーの製作 (中研磨、仕上げ研磨)	・研磨方法の工程を説明できる。 ・鑄造体の仕上げ研磨ができる。 ・鑄造体の洗浄ができる。	6
		・鑄造体の仕上げ研磨を行う。インレー・アンレーを完成させる過程を身につける。		
26	神永 聡	インレー・アンレーの製作 (仕上げ研磨、完成、提出)	・インレー・アンレー製作工程・特徴を説明できる。	6
		・鑄造体の仕上げ研磨を行う。インレー・アンレーを完成させる過程を身につける。		
27	神永 聡	メタルコア・テンポラリークラウンの製作 (作業用模型、咬合器装着)	・石膏操作ができる。 ・作業用模型製作に必要な器材の準備ができる。 ・模型のトリミングができる。 ・咬合器装着を行うことができる。	6
		・メタルコアの目的を理解し、製作手順を身につける。		
28	神永 聡	メタルコア・テンポラリークラウンの製作 (人工歯排列・削合・石膏コア・シリコーンコア)	・メタルコア製作に必要な器材の準備ができる。 ・人工歯の排列ができる。 ・ガイドブロック(石膏コア)を製作することができる。 ・人工歯の削合(舌側)ができる。 ・ワックスアップ・シリコーンコアの製作ができる。	6
		・メタルコア製作手順を身につける。		
29	神永 聡	メタルコア・テンポラリークラウンの製作 (ワックスパターン製作)	・ワックスアップの製作に必要な器材の準備ができる。 ・圧接法によるワックスアップができる。 ・流し込み法によるワックスアップができる。	6
		・ワックスアップの製作手順を身につける。		
30	神永 聡	メタルコア・テンポラリークラウンの製作 (スブルーイング・埋没・鑄造・研磨)	・埋没作業に必要な器材の準備ができる。 ・鑄造に必要な器材の準備ができる。 ・研磨に必要な器材の準備ができる。 ・研磨の工程を理解できる。	6
		・スブルーイングの手順を身につける。 ・埋没の手順を身につける。 ・鑄造の仕方身につける。		

31	神永 聡	メタルコア・テンポラリークラウンの製作 (常温重合レジンの盛り上げ・流込み)	・盛り上げ法での築盛ができる。 ・流し込み法ができる。 ・必要な器材の準備ができる。	4
		・常温重合レジンの取り扱いを身につける。		
32	神永 聡	メタルコア・テンポラリークラウンの製作 (調整・研磨・完成・提出)	・研磨に必要な器材の準備ができる。 ・テンポラリークラウンの形態修正ができる。 ・レジンの研磨ができる。	4
		・調整、研磨の仕方を身につける。		
教科書・参考書				
著書・編者		書名	出版社	
東北歯科技工専門学校		東北歯科技工専門学校実習指針書	東北歯科技工専門学校	
評価方法				
製作物による評価				

授業の概要
歯冠修復技工学(基礎)においては、各歯冠修復物を解剖学的基本形態に沿って製作するだけでなく、歯周組織との関係、咬合、審美性、全身状態などを把握し機能的な歯冠修復物を製作できる手順や材料選択、知識を学ぶ。 歯冠修復技工学(応用)においては、保険診療と自費診療で扱う材料の違いを学び、その材料やCAD/CAMを含めた機材の選択の仕方、取り扱い方の知識や技術を学ぶ。 株式会社Native Design等で5年間、歯科技工士として勤務し各種補綴装置の製作に従事してきた教員(神永)が歯冠修復技工学における基礎的な知識・技術・態度を学ぶ講義を行う。
学習目標 (GIO)
歯冠や歯の欠損に対する歯冠修復技工学の概要や目的を理解し、歯冠修復技工における基礎的事項と臨床的事項を習得する。

授業科目の区分	専門分野			単位数	1
授業科目	歯冠修復技工学講義			授業	月～金
講義室名	研修科実習室	対象学年		研修科	
科目担当責任者	神永 聡	所属	東北歯科技工専門学校 教務主任		
授業担当責任者	神永 聡		東北歯科技工専門学校 教務副主任		
オフィスアワー	職員室			授業方法	講義

セクション	担当者	内容/学習目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	時間数
1	神永 聡	歯冠修復技工学の意義と目的	- 歯冠修復技工学の目的を説明する。 - 歯冠修復技工学の意義を説明する。 - 歯冠修復技工の流れを記述する。 - 機能の回復と改善について説明できる。 - 審美性の回復と改善について説明できる。	8
		・歯冠修復の目的を認識し、技工物製作の流れを理解する。		
2	神永 聡	クラウンとブリッジの具備要件 (生物学的要件)	- 歯冠修復物に求められる要件を列記する。 - 生物学的要件を分類する。 - 歯と歯列との関係について述べる。 - 歯周組織との関係について述べる。 - 清掃性との関係について述べる。	8
		・歯冠修復物に求められる要件、特に生物学的要件について理解する。		
3	神永 聡	クラウンとブリッジの具備要件 (構造的力学的要件)	- 構造的力学的要件を分類する。 - 構造的力学的要件を具体的に述べる。 - 力学安定性について述べる。 - 維持力について述べる。	8
		・歯冠修復物に求められる要件、特に構造的力学的要件について理解する。		
4	神永 聡	クラウンとブリッジの具備要件 (作業用模型とトリミング、咬合器装着)	- 作業用模型の要件について述べる。 - 作業用模型の特徴について述べる。 - 作業用模型の種類について述べる。 - トリミングの実際について理解する。 - 咬合器の種類と取り扱いを説明する。	8
		・作業用模型とトリミングについて理解し技工操作に必要な咬合器について理解する。		
5	神永 聡	ブリッジ について	- ボンテックの要件と構造を列挙できる。 - ボンテックの種類と形態を説明できる。 - ボンテックの適用部位を説明できる。 - 連結法の種類、適応および用途を説明できる。	8
		・ボンテックの要件、構造および種類や形態を理解し適用部位について知る。		
6	神永 聡	クラウンとブリッジの具備要件 (支台築造、テンポラリークラウン・ブリッジ)	- テンポラリークラウンの意義と目的を列記する。 - テンポラリークラウンの製作方法を述べる。 - 支台築造の意義、目的を列記する。 - 支台築造の製作法について説明する。 - メタルコアの目的を具体的に述べる。 - ファイバーコアの目的を具体的に述べる。	12
		・支台築造の意義と目的について知り、さらに使用材料や製作法について理解する。テンポラリークラウンの意義、目的について知り、さらに製作法について理解する。		
7	神永 聡	総論	- 歯冠修復技工学(基礎)の履修内容を説明することができる。 - 保険診療で扱う材料の特徴、製作方法を説明することができる。	8
		・今までに履修した内容の見直しをはかり、学習進度を認識する。		

教科書・参考書		
著書・編者	書名	出版社
全国歯科技工士教育協議会	新歯科技工士教本 歯冠修復技工学	医歯薬出版

評価方法
レポートによる評価

授業の概要

歯冠修復技工学(基礎)においては、各歯冠修復物を解剖学的な基本形態に沿って製作するだけでなく、歯周組織との関係、咬合、審美性、全身状態などを把握し機能的な歯冠修復物を製作できる手順や材料選択、知識を学ぶ。
歯冠修復技工学(応用)においては、保険診療と自費診療で扱う材料の違いを学び、その材料やCAD/CAMを含めた機材の選択の仕方、取り扱い方の知識や技術を学ぶ。
株式会社Native Design等で5年間、歯科技工士として勤務し各種補綴装置の製作に従事してきた教員(神永)とケイエスデンタルを経営する菅原が歯冠修復技工学における基礎を応用した知識・技術・態度を学ぶ実習を行う。

学習目標(GIO)

歯冠修復技工操作の各種手技や各種材料の使用方法を基礎的事項と臨床的事項の観点から総合的に学習し、知識および技術を習得する。

授業科目の区分	専門分野			単位数	4
授業科目	審美歯科技工実習			授業	月～金
実習室名	研修科実習室	対象学年		研修科	
科目担当責任者	神永 聡	所属	東北歯科技工専門学校 教務主任		
授業担当責任者	神永 聡		東北歯科技工専門学校 教務主任		
オフィスアワー	職員室			授業方法	実習

セクション	担当者	内容/学習目標(GIO)	行動目標(SB0s)	時間数
1	神永 聡	硬質レジン前装冠ブリッジ (作業用模型製作・咬合器装着)	・正確な歯型可撤式模型の製作ができる。 ・歯型の辺縁形態を認識し、適したトリミングを行うことができる。	12
		・硬質レジン前装冠の目的を理解し作業手順を理解する。		
2	神永 聡	硬質レジン前装冠ブリッジ (ワックスアップ)	・残存歯列に調和したワックスアップができる。 ・審美性を考慮した形態を付与できる。 ・前歯に適したボンティックの形態を説明できる。	14
		・歯冠形態を把握しワックスアップの製作手順を理解する。		
3	神永 聡	硬質レジン前装冠ブリッジ (窓開け・埋没・鋳造)	・窓明けの説明ができる。 ・リテンションピースの目的を説明できる。 ・窓明け作業ができる。 ・適切な埋没操作ができる。	12
		・歯科精密鋳造を理解し、鋳造操作の実際を理解する。 ・窓開けの作業の実際を理解する。		
4	神永 聡	硬質レジン前装冠ブリッジ (研磨・調整・レジン築盛)	・フレーム調整ができる。 ・各レジンの役割が説明できる。 ・目的の色調に則した硬質レジンの選択ができる。 ・歯牙の内部構造を理解して築盛できる。 ・歯型への適合調整ができる。	14
		・レジン築盛の実際を理解する。		
5	神永 聡	硬質レジン前装冠ブリッジ (形態修整・研磨・提出)	・適切な形態修整ができる。 ・反対側同名歯の表面形態を再現できる。 ・硬質レジン・金属の研磨ができる。	14
		・形態修整の仕方を理解する。		
6	神永 聡	プレスセラミック (ワックスアップ・カットバック)	・歯列に調和した形態をワックスアップできる。 ・審美性に考慮した形態を付与できる。 ・使用材料の特性を理解し、カットバックができる。	16
		・使用材料(ニケイ酸リチウム)の特徴を理解する。		
7	神永 聡	プレスセラミック (埋没・加熱加圧)	・加熱加圧の特徴を理解しスブルーイングができる。 ・製作する形態に合わせ、適切な混液比で埋没材を練和することができる。 ・加熱加圧の工程を理解し適切な機械操作ができる。	14
		・加熱加圧型セラミックの成形方法の特徴を理解する。		
8	神永 聡	プレスセラミック (ステイン)	・色の持つ特徴を説明できる。 ・歯牙の色調の特徴を説明できる。 ・ステイン陶材を正しく扱うことができる。	14
		・ステイン陶材の特性を理解する。		
9	神永 聡	プレスセラミック (陶材築盛)	・歯科用陶材の特徴を説明できる。 ・歯科用陶材を適切に扱うことができる。 ・色調に合わせた陶材の選択ができる。 ・歯科用陶材の焼成を正しく行うことができる。	10
		・歯科用陶材の特性を理解する。		

10	神永 聡	プレスセラミック (形態修正・研磨)	・歯列に適した形態を付与できる。 ・歯科用陶材の切削に使用する器材の正しい選択ができる。 ・艶焼き焼成を説明できる。	12
		・歯科用陶材を切削する器材を理解する。 ・歯科用陶材の研磨工程を理解する。		
11	神永 聡	CAD/CAM (ワックスアップ・スキャン)	・ダブルスキャン製法での適切なワックスアップができる。 ・模型・ワックスのスキャンの操作が適切のできる。 ・コンピューターの操作が適切にできる。	12
		・CAD/CAMでの製作手順を理解する。		
12	神永 聡	CAD/CAM (設計・切削)	・CADを適切に操作ができる。 ・CADで歯牙の特徴を表現できる。 ・CAM機の操作ができる。 ・切削材料の選択が正しくできる。	14
		・CADによる設計を理解できる。 ・CAMの特徴を理解できる。		
13	神永 聡	CAD/CAM (焼結・研磨・ステイン)	・ジルコニアの特性・特徴を説明できる。 ・ジルコニアの研磨手順を説明できる。 ・ハイブリットレジン冠の研磨ができる。 ・ジルコニアのステイニングができる。 ・ハイブリットレジン冠のステイニングができる。	10
		・ジルコニアの特性を理解する。 ・ジルコニア・レジンの研磨手順を理解する。		
14	菅原 克彦	歯型彫刻	・咬合の要素を考慮した歯牙形態の説明ができる。 ・模型を正確に観察することができる。 ・彫刻に使用する器材を適切に使用することができる。	6
		・各歯牙の持つ特徴を理解する。		
15	菅原 克彦	歯型彫刻 (陶材による歯根付き歯牙の形成)	・色調に合わせた歯科用陶材の選択ができる。 ・歯科用陶材の焼成を適切にできる。 ・模型となる歯牙形態に則した築盛ができる。	6
		・歯質の持つ色調の特徴を理解する。		
教科書・参考書				
著書・編者		書名	出版社	
全国歯科技工士教育協議会		新歯科技工士教本 歯冠修復技工学	医歯薬出版	
東北歯科技工専門学校		東北歯科技工専門学校実習指針書	東北歯科技工専門学校	
評価方法				
製作物による評価				

授業の概要

歯冠修復技工学(基礎)においては、各歯冠修復物を解剖学的な基本形態に沿って製作するだけでなく、歯周組織との関係、咬合、審美性、全身状態などを把握し機能的な歯冠修復物を製作できる手順や材料選択、知識を学ぶ。
歯冠修復技工学(応用)においては、保険診療と自費診療で扱う材料の違いを学び、その材料やCAD/CAMを含めた機材の選択の仕方、取り扱い方の知識や技術を学ぶ。
株式会社Native Design等で5年間、歯科技工士として勤務し各種補綴装置の製作に従事してきた教員(神永)とケイエスデンタルを経営する菅原とナチュラルセラミックを経営する上林が歯冠修復技工学における高度な知識・技術・態度を学ぶ実習を行う。

学習目標 (GIO)

歯冠や歯の欠損に対する歯冠修復技工学の概要や目的を理解し、歯冠修復技工における基礎的事項と臨床的事項の実際を習得する。

授業科目の区分		専門分野		単位数	2
授業科目		審美歯科技工学講義		授業	月～金
講義室名	研修科実習室	対象学年		研修科	
科目担当責任者	神永 聡	所属	東北歯科技工専門学校 教務主任		
授業担当責任者	神永 聡		東北歯科技工専門学校 教務主任		
オフィスアワー		職員室	授業方法		講義

セクション	担当者	内容/学習目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	時間数
1	神永 聡	歯冠修復技工学の意義と目的	- 歯冠修復技工学の目的を説明する。 - 歯冠修復技工学の意義を説明する。 - 歯冠修復技工の流れを記述する。 - 審美歯科の特徴を説明する。	6
		・歯冠修復の目的を認識し、技工物製作の流れの実際を理解する。		
2	神永 聡	硬質レジンの特徴	- 硬質レジンの種類を列記する。 - 歯冠用硬質レジンの特徴を説明できる。 - 審美域における色調表現を説明できる。	6
		・歯冠用硬質レジンの特徴を理解する。		
3	神永 聡	硬質レジンブリッジ	- ブリッジの構成を具体的に述べる。 - ブリッジを分類する。 - ボンティックと歯肉の関わりを説明できる - ブリッジの構造力学的要件を説明できる。	6
		・ブリッジの概要を知り、その特徴や構成の実際を理解する。		
4	神永 聡	プレスセラミック	- 加熱加圧型セラミックスの説明ができる。 - ニケイ酸リチウムについて説明ができる。 - 歯科用セラミックスの分類ができる。 - ニケイ酸リチウムの機械的性質を列挙できる。	6
		・加熱加圧型セラミックについて理解する。		
5	神永 聡	プレスセラミック	- ステイン陶材の特性を説明できる。 - 色の特性を列挙できる。 - 歯質による色調の違いを説明できる。 - ステイン陶材の機械的性質を説明できる。	6
		・ステイン陶材の特徴を理解する。		
6	神永 聡	プレスセラミック	- ニケイ酸リチウムと陶材の接着について説明できる。 - 歯科用陶材について特徴を列挙できる。 - 歯科用陶材の機械的性質を説明できる。 - 歯科用陶材の焼成について説明できる。	6
		・歯科用陶材について理解する。		
7	神永 聡	CAD/CAM	- CAD/CAMの構成について説明できる。 - スキャナーについて説明できる。 - CADについて説明できる。 - CAM機の特徴を説明できる。	6
		・CAD/CAMのシステムを理解する。		
8	神永 聡	CAD/CAM	- 切削用ハイブリッドレジンについて説明できる。 - 切削用ハイブリッドレジンの機械的性質を列挙できる。	4
		・ハイブリッドレジンについて理解する。		
9	神永 聡	CAD/CAM	- ジルコニアの種類を列挙できる。 - ジルコニアの特性を説明できる。 - ジルコニアの機械的性質を説明できる。 - ジルコニアの適応症を列挙できる。	2
		・ジルコニアについて理解する。		
10	菅原 克彦	咬合理論・歯牙形態	- 咬合に関する要件について説明ができる。 - 各顎運動に関係する歯牙の形態的特徴について説明できる。	4
		・咬合理論について理解する。 ・歯牙形態について理解する。		
11	上林 健	審美歯科	- 歯牙の色調の捉え方について説明できる。 - 多色築盛の特性を説明できる。 - 口腔内撮影について説明できる。 - 歯牙の形態の捉え方を列挙できる。	8
		・審美歯科の陶材築盛について理解する。		

教科書・参考書		
著書・編者	書名	出版社
全国歯科技工士教育協議会	新歯科技工士教本 歯冠修復技工学	医歯薬出版

評価方法
レポートによる評価

授業の概要

人口の高齢化に伴って歯槽骨減少、患歯減少が進み、歯科臨床ニーズが拡大している。アマルガム、プラスチック、セラミックス、金属、超高齢化社会を迎えて訪問診療の増加推進、欠損修復法としてインプラント治療、新しい病状として睡眠時無呼吸症候群の治療、さらには歯科技工の技術・材料をもって生体補綴装置の製作など新たな分野へと展開している。

本実習は実践的な技術の習得を目指し、臨床・臨地実習を実施し心構えや態度を学ぶ実習である。

なおこの実習は臨床実習の特性からセクションを設けず、以下の内容の実習を適時実施するものとする。

株式会社Native Design等で5年間、歯科技工士として勤務し各種補綴装置の製作に従事してきた教員(神永)と富谷病院に勤務する中澤と協和デンタルラボラトリーを経営する木村とミナ・コーポレーションを経営する長久保が歯科医療に携わるための知識・技術・態度を学ぶ実習を行う。

学習目標 (GIO)

応用的な技術を習得し、臨床・臨地実習での心構えや態度を学ぶことを目的とする。

授業科目の区分	専門分野			単位数	7
授業科目	歯科技工実習			授業	月～金
講義室名	研修科実習室	対象学年		研修科	
科目担当責任者	神永 聡	所属	東北歯科技工専門学校 教務主任		
授業担当責任者	岸 高保		東北歯科技工専門学校 教員		
オフィスアワー	職員室		授業方法	実習	

担当者	内容/学習目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	時間数
神永 聡	歯科技工実習を始めるにあたって	- 歯科技工作業における基本姿勢と技工機の使い方について説明できる。 - 技工作業にふさわしい服装・指先で作業することができる。 - 補綴装置が装着されるまでの工程を理解し、それぞれの場面で歯科医師・衛生士・患者への対応ができる。	8
	技工機や基本姿勢・手指の使い方を改めて理解する。 歯科医師・衛生士・患者への対応を理解する。		
神永 聡 岸 高保	模型製作	- 技工物製作に適した模型製作ができる。 - 複数の模型を適切に製作することができる。 - 模型の解剖学的ランドマークを判断することができる。	30
	模型製作の方法を理解する。		
神永 聡 岸 高保	研究模型製作	- 研究模型について説明できる。 - 研究模型製作ができる。 - 研究模型製作に使用する機材の操作ができる	30
	研究模型製作の手順を理解する。		
神永 聡 岸 高保	インレー	- 残存歯質の情報を読み取ることができる。 - 適切なインレー形態を付与することができる - 適切な対合関係を付与することができる。 - 口腔衛生を考慮した研磨ができる。	30
	臨床に適したインレーの製作を理解する。		
神永 聡 岸 高保	クラウン	- 歯列に調和した形態を付与することができる - 適切な対合関係を付与することができる。 - 口腔衛生を考慮した研磨ができる。	30
	臨床に適したクラウンの製作を理解する。		
神永 聡 岸 高保	ブリッジ	- 歯列に調和した形態を付与することができる - 適切な対合関係を付与することができる。 - 口腔衛生を考慮した研磨ができる。 - 歯肉に適切な基底面形態を付与できる。	20
	臨床に適したブリッジの製作を理解する。		
神永 聡 岸 高保	個人トレー製作	- 個人トレーに使用する印象材について説明できる。 - 個人トレー製作の意義を説明できる。 - 常温重合レジンに適切に操作できる。	20
	臨床に適した個人トレー製作を理解する。		
神永 聡 岸 高保	咬合床製作	- 対合関係を考慮した咬合床が製作できる。 - 解剖学的ランドマークを判断できる。 - 咬合平面の決定を考慮したロー堤が製作できる。	20
	臨床に適した咬合床製作を理解する。		
神永 聡 岸 高保	義歯試適	- 対合関係を考慮した人工歯排列ができる。 - 患者に適した適切な人工歯の選択ができる。 - 口腔内の粘膜を考慮した歯肉形成ができる。 - 顎運動を考慮した人工歯削合ができる。	20
	臨床に適した義歯試適を理解する。		

神永 聡 岸 高保	義歯完成	・維持装置の製作ができる。 ・製作する義歯に適した埋没ができる。 ・適切な填入・重合操作ができる。 ・口腔衛生を考慮した研磨ができる。	30
	臨床に適した義歯製作を理解する。		
神永 聡 岸 高保	義歯修理	・義歯の破折による修理ができる。 ・維持装置の修理・置換えができる。 ・人工歯の修理・置換えができる。	26
	義歯修理の手順を理解する		
神永 聡 岸 高保	配達実習	・配達における服装・態度を説明できる。 ・配達時の技工物の取扱いが適切にできる。	20
	製作した技工物を歯科医院に配達する際の態度を理解する。		
渡邊 奈美	院内実習	・歯科医院での治療の手順を列挙できる。 ・口腔内の様子を観察することができる。 ・患者に対する適切な態度を説明できる。 ・歯科医院内での適切な服装・態度をとることができる。	20
	歯科医院内での治療を理解する。		
中澤 正絵	口腔衛生	・口腔衛生について説明することができる。 ・補綴物と歯肉の関係を説明することができる ・歯周病について説明ができる。 ・歯周病と他の疾患の関連性を説明できる。	4
	口腔衛生について理解する。		
木村 健二	デジタル技工	・ライブカメラ等を用いたコミュニケーションの利点を説明できる。 ・3DプリンターやCAM機を用いた補綴物や模型製作の特性を説明できる。	4
	デジタルを用いた最新治療における技工士の役割を理解する。		
長久保 美奈	接遇	・電話対応における適切な対応ができる。 ・名刺交換におけるマナーを説明できる。 ・対人での印象の大切さを説明できる。 ・適切な発声・表情が説明できる ・適切な言葉遣いができる。	4
	職場での適切な接遇を理解する。		

教科書・参考書		
著書・編者	書名	出版社
東北歯科技工専門学校	実習指針書	

評価方法
製作物による評価

令和5年度 4・5月 時間割

週次：前期22週・後期19週

授業：45分＝1時間

単位：講義1単位＝30時間

実習1単位＝45時間

前期 4月15日～4月28日

週次	日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
1	15	土	入学式							
2	17	月	クラスミーティング・材料配布				歯冠修復技工学講義			
	18	火	歯冠修復技工学実習				歯冠修復技工学実習			
	19	水	歯冠修復技工学実習				歯冠修復技工学講義			
	20	木	歯冠修復技工学実習				歯冠修復技工学実習 10			
	21	金	歯冠修復技工学実習				歯冠修復技工学講義			
	24	月	歯冠修復技工学実習				歯冠修復技工学実習			
3	25	火	歯冠修復技工学実習				歯冠修復技工学講義			
	26	水	歯冠修復技工学実習 20				歯冠修復技工学実習			
	27	木	有床義歯(基礎)講義				有床義歯(基礎)実習			
	28	金	有床義歯(基礎)実習				ボウリング大会			

前期 5月1日～5月26日

週次	日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
4	1	月	休校							
	2	火	休校							
	3	水	健保記念日							
	4	木	みどりの日							
	5	金	こどもの日							
5	8	月	歯冠修復技工学実習				歯冠修復技工学実習			
	9	火	歯冠修復技工学実習				歯冠修復技工学講義 10			
	10	水	歯冠修復技工学実習 30				歯冠修復技工学実習			
	11	木	有床義歯(基礎)実習				有床義歯(基礎)講義			
	12	金	有床義歯(基礎)実習				有床義歯(基礎)実習 10			
6	15	月	有床義歯(基礎)講義				有床義歯(基礎)実習			
	16	火	歯冠修復技工学実習				歯冠修復技工学講義			
	17	水	歯冠修復技工学実習				歯冠修復技工学実習			
	18	木	有床義歯(基礎)実習				有床義歯(基礎)講義			
	19	金	有床義歯(基礎)実習				有床義歯(基礎)実習			
	21	日	オープンキャンパス				歯冠修復技工学実習 40			
7	22	月	振替休日							
	23	火	有床義歯(基礎)講義 10				有床義歯(基礎)実習 20			
	24	水	歯冠修復技工学実習				歯冠修復技工学講義			
	25	木	パークゴルフ大会							
	26	金	有床義歯(基礎)実習				有床義歯(基礎)実習			

令和5年度 6・7月 時間割

前期 5月29日～6月30日

週次	日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
8	29	月	有床義歯(基礎)講義				有床義歯(基礎)実習			
	30	火	歯冠修復技工学実習				歯冠修復技工学実習			
	31	水	歯冠修復技工学実習				歯冠修復技工学講義			
	1	木	有床義歯(基礎)実習				有床義歯(基礎)講義			
	2	金	有床義歯(基礎)実習 30				有床義歯(基礎)実習			
9	5	月	有床義歯(基礎)講義				有床義歯(基礎)実習			
	6	火	歯冠修復技工学実習 50				歯冠修復技工学実習			
	7	水	歯冠修復技工学実習				歯冠修復技工学講義			
	8	木	有床義歯(基礎)実習				有床義歯(基礎)講義			
	9	金	有床義歯(基礎)実習				有床義歯(基礎)実習 40			
10	12	月	有床義歯(基礎)講義 20				有床義歯(基礎)実習			
	13	火	歯冠修復技工学実習				歯冠修復技工学実習			
	14	水	歯冠修復技工学実習 60				歯冠修復技工学講義 20			
	15	木	有床義歯(基礎)実習				有床義歯(基礎)講義			
	16	金	有床義歯(基礎)実習				有床義歯(基礎)実習			
11	19	月	有床義歯(基礎)講義				有床義歯(基礎)実習 50			
	20	火	歯冠修復技工学実習				歯冠修復技工学実習			
	21	水	歯冠修復技工学実習				歯冠修復技工学講義			
	22	木	スポーツ大会(若林体育館)							
	23	金	有床義歯(基礎)実習				有床義歯(基礎)実習			
	25	日	オープンキャンパス				歯冠修復技工学実習			
12	26	月	振替休日							
	27	火	歯冠修復技工学実習 70				歯冠修復技工学実習			
	28	水	歯冠修復技工学実習				歯冠修復技工学講義			
	29	木	有床義歯(基礎)実習				有床義歯(基礎)講義			
	30	金	有床義歯(基礎)実習				有床義歯(基礎)実習 60			

前期 7月3日～7月28日

週次	日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
13	3	月	歯冠修復技工学実習				歯科技工実習			
	4	火	歯冠修復技工学実習				歯科技工実習			
	5	水	歯冠修復技工学講義				歯科技工実習			
	6	木	有床義歯(基礎)実習				歯科技工実習			
	7	金	有床義歯(基礎)実習				歯科技工実習			
14	10	月	歯冠修復技工学実習 80				歯科技工実習			
	11	火	歯冠修復技工学講義				歯科技工実習			
	12	水	歯冠修復技工学実習				歯科技工実習			
	13	木	有床義歯(基礎)講義				歯科技工実習			
	14	金	有床義歯(基礎)実習				歯科技工実習			
15	17	月	海の日							
	18	火	歯冠修復技工学実習				歯科技工実習			
	19	水	歯冠修復技工学実習				歯科技工実習			
	20	木	有床義歯(基礎)実習 70				歯科技工実習			
	21	金	有床義歯(基礎)講義 30				歯科技工実習			
	23	日	オープンキャンパス				歯科技工実習			
16	24	月	振替休日							
	25	火	歯冠修復技工学講義 30				歯科技工実習			
	26	水	歯冠修復技工学実習				歯科技工実習			
	27	木	有床義歯(基礎)実習				歯科技工実習			
	28	金	有床義歯(基礎)実習				歯科技工実習			

令和5年度 8・9月 時間割

前期 7月31日～9月1日

週次	日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
17	31	月	歯冠修復技工学実習 90				歯科技工実習			
	1	火	有床義歯(基礎)講義				歯科技工実習			
	2	水	有床義歯(基礎)実習				歯科技工実習			
	3	木	歯科技工実習				歯科技工実習			
	4	金								
18	28	月								
	29	火	歯科技工実習				歯科技工実習			
	30	水	有床義歯(基礎)講義				歯科技工実習			
	31	木	有床義歯(基礎)実習				歯科技工実習			
	1	金	有床義歯(基礎)実習				歯科技工実習			

前期 9月4日～9月29日

週次	日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
19	4	月	有床義歯(基礎)講義				歯科技工実習			
	5	火	有床義歯(基礎)実習				歯科技工実習			
	6	水	有床義歯(基礎)講義				歯科技工実習			
	7	木	有床義歯(基礎)実習 80				歯科技工実習			
	8	金	有床義歯(基礎)講義 40				歯科技工実習			
	10	日	有床義歯(基礎)実習							
20	11	月	有床義歯(基礎)講義				歯科技工実習			
	12	火	有床義歯(基礎)実習				歯科技工実習			
	13	水	有床義歯(基礎)講義				歯科技工実習			
	14	木	有床義歯(基礎)実習				歯科技工実習			
	15	金	有床義歯(基礎)講義 46				歯科技工実習			
21	18	月	有床義歯(基礎)実習				歯科技工実習			
	19	火	有床義歯(基礎)実習 90				歯科技工実習			
	20	水	有床義歯BASIC 試験				有床義歯BASIC 試験			
	21	木	有床義歯BASIC 試験				有床義歯BASIC 試験			
	22	金	有床義歯BASIC 試験				有床義歯BASIC 試験			
22	25	月	敬老の日							
	26	火	有床義歯BASIC 試験				有床義歯BASIC 試験			
	27	水	審美歯科講義				審美歯科実習			
	28	木	秋分の日							
	29	金	芋煮会							

令和5年度 10・11月 時間割

後期 10月2日～10月27日

週次	日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
1	2	月	審美歯科実習				歯科技工実習			
	3	火	審美歯科実習				歯科技工実習			
	4	水	審美歯科講義				審美歯科実習			
	5	木	審美歯科実習 10				歯科技工実習			
	6	金	審美歯科実習				歯科技工実習			
2	9	月	スポーツの日							
	10	火	審美歯科実習				歯科技工実習			
	11	水	審美歯科講義				審美歯科実習			
	12	木	審美歯科実習				歯科技工実習			
	13	金	審美歯科実習 20				歯科技工実習			
3	16	月	審美歯科実習				歯科技工実習			
	17	火	審美歯科講義				審美歯科実習			
	18	水	審美歯科実習				歯科技工実習			
	19	木	審美歯科実習				歯科技工実習			
	20	金	審美歯科実習 30				歯科技工実習			
4	23	月	審美歯科講義 10				審美歯科実習			
	24	火	審美歯科実習				歯科技工実習			
	25	水	審美歯科実習				歯科技工実習			
	26	木	審美歯科実習				歯科技工実習			
	27	金	審美歯科講義				審美歯科実習 40			

後期 10月30日～11月24日

週次	日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
5	30	月	審美歯科講義				審美歯科実習			
	31	火	審美歯科実習				歯科技工実習			
	1	水	審美歯科実習				歯科技工実習			
	2	木	審美歯科実習				歯科技工実習			
	3	金	文化の日							
6	6	月	審美歯科講義				審美歯科実習 50			
	7	火	審美歯科実習				歯科技工実習			
	8	水	審美歯科実習				歯科技工実習			
	9	木	審美歯科実習				歯科技工実習			
	10	金	審美歯科講義				審美歯科実習			
7	13	月	審美歯科実習 60				歯科技工実習			
	14	火	審美歯科実習				歯科技工実習			
	15	水	審美歯科実習				歯科技工実習			
	16	木	審美歯科講義 20				審美歯科実習			
	17	金	審美歯科実習				歯科技工実習			
8	20	月	審美歯科実習 70				歯科技工実習			
	21	火	審美歯科実習				歯科技工実習			
	22	水	審美歯科講義				審美歯科実習			
	23	木	勤労感謝の日							
	24	金	審美歯科実習				歯科技工実習			

令和5年度 12・1月 時間割

後期 11月27日～12月22日

週次	日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
9	27	月	審美歯科講義				審美歯科実習			
	28	火	審美歯科実習 80				歯科技工実習			
	29	水	審美歯科実習				歯科技工実習			
	30	木	審美歯科実習				歯科技工実習			
	1	金	審美歯科講義				審美歯科実習			
10	4	月	審美歯科実習				歯科技工実習			
	5	火	審美歯科実習 90				歯科技工実習			
	6	水	審美歯科講義				歯科技工実習			
	7	木	審美歯科講義 30				歯科技工実習			
	8	金	有床義歯(応用)講義				有床義歯(応用)実習			
11	11	月	有床義歯(応用)実習				歯科技工実習			
	12	火	有床義歯(応用)実習				歯科技工実習			
	13	水	有床義歯(応用)実習				歯科技工実習			
	14	木	有床義歯(応用)講義				有床義歯(応用)実習 10			
	15	金	有床義歯(応用)実習							
12	18	月	有床義歯(応用)実習							
	19	火	有床義歯(応用)実習							
	20	水	有床義歯(応用)講義				有床義歯(応用)実習			
	21	木	有床義歯(応用)実習 20							
	22	金	有床義歯(応用)実習							

後期 1月8日～1月26日

週次	日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
12	8	月	成人の日							
	9	火	有床義歯(応用)講義				有床義歯(応用)実習			
	10	水	有床義歯(応用)実習							
	11	木	有床義歯(応用)実習							
	12	金	有床義歯(応用)実習 30							
13	15	月	有床義歯(応用)講義 10				有床義歯(応用)実習			
	16	火	有床義歯(応用)実習							
	17	水	有床義歯(応用)実習							
	18	木	有床義歯(応用)実習							
	19	金	有床義歯(応用)講義				有床義歯(応用)実習 40			
14	22	月	有床義歯(応用)実習							
	23	火	有床義歯(応用)実習							
	24	水	有床義歯(応用)実習							
	25	木	有床義歯(応用)講義				有床義歯(応用)実習			
	26	金	有床義歯(応用)実習 50							

令和5年度 2・3月 時間割

後期 1月29日～2月23日

週次	日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
15	29	月	有床義歯(応用)講義				有床義歯(応用)実習			
	30	火	有床義歯(応用)実習							
	31	水	有床義歯(応用)実習							
	1	木	有床義歯(応用)実習							
	2	金	有床義歯(応用)講義				有床義歯(応用)実習 60			
16	5	月	有床義歯(応用)講義 20				有床義歯(応用)実習			
	6	火	有床義歯(応用)実習							
	7	水	有床義歯(応用)実習							
	8	木	有床義歯(応用)実習							
	9	金	有床義歯(応用)講義				有床義歯(応用)実習 70			
17	12	月	有床義歯(応用)講義				有床義歯(応用)実習			
	13	火	有床義歯(応用)実習							
	14	水	有床義歯(応用)実習							
	15	木	有床義歯(応用)実習							
	16	金	有床義歯(応用)講義				有床義歯(応用)実習 80			
18	19	月	有床義歯(応用)講義				有床義歯(応用)実習			
	20	火	有床義歯(応用)実習							
	21	水	有床義歯(応用)実習				有床義歯(応用)実習			
	22	木	有床義歯(応用)講義 30				有床義歯(応用)実習 90			
	23	金	天皇誕生日							

後期 2月26日～3月15日

週次	日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
19	26	月	自由登校				自由登校			
	27	火	自由登校				自由登校			
	28	水	自由登校				自由登校			
	29	木	自由登校				自由登校			
	1	金	自由登校				自由登校			
20	2	土	修了式							
	4	月								
	5	火								
	6	水								
	7	木								
21	8	金								
	11	月								
	12	火								
	13	水								
	14	木								
21	15	金								

令和四年度 研修科 教育課程(カリキュラム)実施表

学 週 期 次	分野 科 目	専門分野																				試験・行事・その他	1 週 間 の 時 間 数				
		有 床 基 義 歯 技 工 学	有 床 応 義 歯 技 工 学						歯 冠 基 修 復 技 工 学				歯 冠 応 修 復 技 工 学				臨 床 実 習										
			講 義	実 習	講 義	講 義	講 義	実 習	実 習	講 義	講 義	実 習	実 習	講 義	講 義	講 義	実 習	実 習	実 習	実 習	演 習			演 習	演 習		
																										八 巻	八 巻
授業形態																											
月日																											
前 期	1	4/11~4/16																								4	4
	2	4/18~4/22																									32
	4	4/25~4/29																								4	32
	5	5/2~5/6																									0
	6	5/9~5/13																								6	40
	7	5/16~5/22																								8	46
	8	5/23~5/27																								8	32
	10	5/30~6/3																								8	40
	11	6/6~6/10																								8	40
	12	6/13~6/17																								8	40
	13	6/20~6/26																								8	46
	14	6/27~7/1																								8	32
	15	7/4~7/10																								6	46
	16	7/11~7/15																								6	32
	17	7/18~7/22																								6	32
	18	7/25~7/29																								6	40
	19	8/1~8/5																								8	36
	8/8~8/19 夏 期 休 校																										
	20	8/22~8/26																									40
	21	8/29~9/2																									32
	22	9/5~9/9																									40
	23	9/12~9/16																									40
	24	9/19~9/25																									44
	25	9/26~9/30																									24
	後 期	1	10/3~10/7																								
2		10/10~10/14																									32
3		10/17~10/21																									40
4		10/24~10/28																									40
5		10/31~11/4																									32
6		11/7~11/11																									40
7		11/14~11/18																									40
8		11/21~11/25																									32
9		11/28~12/2																									40
10		12/5~12/9																									40
11		12/12~12/16																									40
12		12/19~12/23																									8
12/26~1/6 冬 期 休 校																											
13		1/9~1/13																									32
14		1/16~1/20																									40
15		1/23~1/27																									40
16		1/30~2/3																									40
17		2/6~2/10																									40
18		2/13~2/17																									36
19		2/20~2/24																									0
20		2/27~3/3																									0
21		3/6~3/10																									0
22	3/13~3/17																									0	
各科目総時間数小計		98	184	62		182		64		200		60		184		320					88		1354				
各科目総時間数合計		90	180	60		180		60		180		60		180		316											
取得単位数		3	4	2		4		2		4		2		4		7							32				